

平成26年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
畜産草地部会 現地研究会 開催要領

畜産草地部会長 畜産草地研究所畜産研究支援センター長 澤村 篤

1 趣 旨

農山漁村の6次産業化は、農林漁業生産と加工・販売の一体化や地域資源を活用した新たな産業の創出により、農林漁業の発展と農山漁村の活性化に寄与することから、政府の「日本再興戦略」の一環として農林漁業成長産業化ファンドも本格的に動き出した。

そこで、畜産の6次産業化の展開に向けた取組について情報提供していただくとともに、6次産業化のサポートに携わっている専門家を迎え、現状の課題を整理しながら、今後想定される事業内容、推進方策等の展望について論議する。

2 日 時

平成26年9月18日（木）13：30～19日（金）13：00

3 場 所

(1) 1日目

三重県津市 アストプラザ4F研修室A
(JR、近鉄 津駅東口隣接会議場)

(2) 2日目

伊賀の里モクモク手づくりファーム
(伊賀市西湯舟3609 0595-43-0909)

4 議 事

テーマ「6次産業化の取組」

(1) 1日目

1) 基調講演

(演題確認中)

高垣和郎 (公益財団法人三重県産業支援センター)

2) 話題提供

①ブタのゲノム育種研究成果の実用化

美川 智 (農業生物資源研究所)

②ブタのゲノム育種研究成果等の普及による豚肉の銘柄化について

吉岡 豪 (岐阜県畜産研究所養豚・養鶏研究部)

③平成26年度海外市場向け三重県産ブランド牛肉輸出モデル事業の概要について

西口 茂 (三重県農林水産部畜産課)

- ④研究成果普及の取組 畜産草地研究所で開発した乳製品の事例
野村 将 (畜産草地研究所畜産物研究領域)
- ⑤6次産業化の推進、A-F I V Eの展開
岩波道生 ((株)農林漁業成長産業化支援機構)

3) 総合討議

話題提供者と参加者による総合討議

コーディネーター：高垣和郎 (公益財団法人三重県産業支援センター)

(2) 2日目

現地検討

伊賀の里モクモク手づくりファーム 10:00~12:00

創業から今までの取組、現在の姿、今後の事業展開などの説明、質疑応答、意見交換で1時間程度。

その他、自由散策30分程度、自由昼食で12:00まで。

○移動手段：貸切バスを農研機構が借り上げます。

(各自車両での参加も可、各自移動者は現地待ち合わせ)

○行程：

9:00 津駅 発 (貸切バス)

↓

10:00 伊賀の里モクモク手づくりファーム 着

12:00 伊賀の里モクモク手づくりファーム 発

↓

13:00 津駅 着 解散

5 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政普及部局、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、民間研究機関、大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(独)農業生物資源研究所、(独)家畜改良センター、その他部会長が認める者

6 連絡先 (事務局)

畜産草地研究所企画管理部業務推進室交流チーム長 古賀 政男

TEL 029-838-8249 FAX 029-838-8606

7 その他

参加・宿泊申込、その他詳細については、別途。